



THE ROTARY CLUB OF KUSHIRO WEST 2010~2011(平成 22 年~23 年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和 45(1970)年 6 月 8 日 承認 昭和 45(1970)年 6 月 10 日

2010~2011 RI テーマ 「地域を育み、大陸をつなぐ」

《本日のプログラム》 11 月 8 日 12:30

普通例会

ロータリー財団月間プログラム

《次回のプログラム》 11 月 15 日 12:30

普通例会

小船井パストガバナー講話「国際ロータリーの現状」

《例会日:毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場:釧路全日空ホテル 釧路市錦町 3-7》

会長 石川 俊二 幹事 三木 克敏

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

2010年11月8日(月) 第14回 通算1897回

【点鐘】 石川会長

【ロータリーソング斉唱】 「奉仕の理想」

ソングリーダー: 金田会員

【会長挨拶】 石川会長



本日、みなさまのお手元にガバナー・マンスリー第 5 号が届いていると思いますが、内容的には帯広での地区大会の内容が記されております。その中で、地区大会からの贈り物として、タクトを振る帯広西ロータリークラブの柳澤会員の写真が大きく掲載されております。今まで見たことの無いパフォーマンスを見せて下さいまして、会場をおおいに賑わせてくれたことを思い出しました。また、本日は田村副委員長よりかぼちゃの提供を受けました。田村農園のかぼちゃですので、美味しくいただけたと思います。みなさん忘れずに、お持ち帰りの程よろしく

お願い致します。会長挨拶を終わります。

【幹事報告】 三木幹事



① 近隣クラブより会報等が届いております。

【委員会報告】

- 広報委員会 八村委員長
ロータリーの友10月号のご紹介

- 親睦活動委員会 小泉副委員長

「ニコニコ献金内訳」

- ☆ 入会記念 大場会員 那知会員
- ☆ 本人誕生 佐藤和会員 中川会員
- ☆ 奥様誕生 大場会員
- ☆ 結婚記念 加藤会員 八村会員 那知会員



【本日のプログラム】 担当 国際奉仕

●ロータリー財団月間プログラム

《張江ロータリー財団委員長》



ロータリー財団について

ロータリー財団委員長の張江でございます。今月11月はロータリー財団月間です。ロータリー財団といいますと、私自身「なかなか判りづらい」と思っております。何故かといいますと、資金の流れが、なかなか見えてこないからであります。要するにロータリー財団の資料は英文の資料を翻訳したものでありますので日本語として判りづらいことが原因であると思っております。また、寄付金を集めるという面ばかり強調されておりますので、財団の委員長としては嫌な役に当たったものだと思っております。そこで財団月間に因んで、解りやすく解説された

VTRのテープかCDを放映したいと思ひまして田村副会長に調達を依頼し、探していただいたのですが地区の事務所にもロータリーの友事務所にもないという返事でしたので、私の知る範囲でお話をさせていただきます。残った時間は田村副会長、よろしく願いいたします。

ロータリー財団の目的は地域レベル、国際レベルの人的、教育的文化交流を通じて世界理解と平和を達成しようということですので、それが大きな成果を挙げるためには、どうしてもロータリアン一人一人の善意によります拠金が必要なのであります。それでロータリーは寄付団体ではない、と言いつつも積極的に寄付集めをしているのが実情であります。そこで、ロータリー財団のプログラムについて申し上げますと、ロータリー財団には教育的プログラムと人道的補助金プログラムともう一つはポリオ・プラスプログラムがあります。

教育的プログラムには国際親善奨学金・大学教員の為の補助金・研究グループ交換、いわゆるGSE等がありますが、特にこの中で国際親善奨学金は民間レベルの奨学金としては世界最大規模の奨学制度であります。人道的補助金プログラムには、地区補助金・マッチング・グラント及び3-H補助金等があります。

次に寄付金にはどのような種別があるかと申しますと大きく分けまして年次寄付、恒久基金寄付、ポリオ・プラス寄付の3つであります。年次寄付は毎年各クラブが年次寄付の目標額を設定して継続して行く寄付であります。当クラブは今年度会員一人100ドル以上目標にしております。この年次寄付について少し説明させていただきますと、集められた寄付は国際ロータリーの財団本部に送られます。財団に送られた寄付金はシェア・システムというものに適用されて3年間財団本部に保留されます。3年間経過した後、地区が拠出した年次寄付金の元金の50%と、その元金を3

年間にわたって運用した投資収益の50%が地区に配分され、残りの50%はそのまま財団本部に保留されまして財団プログラムに使われているのであります。

地区に配分されたものを地区財団活動資金、いわゆるDDFと呼ばれ、財団本部に残される寄付金を国際財団活動資金、WFと呼んでおります。このDDFとWFという言葉がよく使われておりますが、先ほど言いましたように、DDFにつきましては地区がその使い途を決めるので、使い途がわかるのですが、WF即ちワールド・ファンドについては、どのように使われているかよく判らないという方が多いようであります。

恒久基金寄付につきましては、ロータリー財団の「基金」への寄付であります。この基金は元金には手をつけず投資や貯蓄に回して、その運用益や利息だけが財団プログラムに使われているのであります。1,000ドル又は相当額以上寄付された方には年次寄付の認証がポールハリス・フェローであるのに対し、ベネファクターの称号が与えられております。当クラブでは、亡くなられました柴田龍太郎パスト会長、退会されました井戸川、武田、菅原賢司、木幡の各パスト会長、現会員の柴田瑞枝会員の6名がベネファクターになっております。

使途指定寄付は、あらかじめ使い途を決めて寄付をするものでありまして、ポリオ・プラスがその代表例であり、集められた寄付金は、一度ポリオ・プラス基金に入金されまして必要に応じて、いつでも使うことができるのであります。ほかのものに流用されることはないということでもあります。以上3つの寄付の内訳を見ますと、年次プログラム基金が一番多く、次はポリオ・プラス基金で一番少ないのは恒久基金寄付となっております。

次に基金が一番多い年次寄付のシェア・システムを利用して行った、分区内のクラブの事業実績や当クラブが行った事業を紹介させていただきます。まず、分区で行った事業では前年度、第7分区ガバナー補佐の葎本正美さんは、タイのR13330地区のロータリークラブと協力して3330地区の44の小学校に「子ども達にきれいな水を飲ませたい」という思いから、浄水機を設置されました。当初は、この資金としてマツチング・グラントを使う予定でしたがリーマンショックでロータリー財団には運用益が乏しく使えませんでした。それで総額39,000ドルの内、3330地区がDDFとして7,500ドルを達成し、当2,500地区でもDDFとして23,000ドルを調達しております。残りの資金は3330地区と当地区の第7分区で負担をしたのであります。

次に当クラブで行った事業について紹介を致します。平成14年の12月に環境美化のPRとしまして新釧路川に架かっております鶴見橋より上流の河畔に、2ヶ所看板を設置しております。この看板は社会奉仕委員会によって提案されたもので「釧路市をみんなできれいな街にする条例」の趣旨に当クラブが賛同しまして、美観推進重点区域に指定されている新釧路川の河畔に「ポイ捨て禁止」の啓発看板を設置し、釧路市に寄贈したことであります。もう一つは2005～06年に地区補助金310,666円を使って、釧路地区小学生バレーボール大会開催事業として優勝旗を作製しております。今年度も12月18日に釧路町総合体育館に於いて釧路西ロータリークラブ会長杯が開催されますので、優勝校にはこの優勝旗が手渡されることになっております。以上のように年次寄付は身近なものにも使われているのであります。

余談になりますが私が、このクラブに入会した時は固定相場制でありまして1ドル360円でありました。商売をして間もない時でありましたので、寄付が出来なかったこともありましたが、その後変動相場制に移行されまして次第に円高に推移してありまして、今年11月のロータリーレートは1ドル82円であります。非常に不景気が続いておりますので、決して100ドル以上にこだわってはおりません。ただこの財団月間に因みまして財団への寄付にご協力いただければありがたいと思っております。誠にまとまりのない卓話になってしまいましたが、この後は田村副会長よりかぼちゃ収穫のおもしろいお話を聞くことになっておりますので、私からのお願いはこれで終わらせていただきます。

●特別企画 三役の卓話

《田村副会長》

今日のかぼちゃは、黒っぽいものが「みやこ」、白いは「雪化粧」といいます。その他に黒いちいさなものの「坊ちゃん」、赤い皮のものは「赤ずきん」といいますが、今年は畑をやるのが遅かったため、2種類しか植えませんでした。

かぼちゃは、取れたなら1～2週間ぐらいお日さまにあて凍らせないようにすると、中身がほくほくになりより美味しくなる。今日みなさまにお渡したものはすべてやってありますので、すぐに食べても結構です。かぼちゃの花は、雄花・雌花が咲き、種類によっては雌花が先に咲く場合がありますが、その間に、蜂が行ったり来たり・行ったり来たり密を吸いに移動して、花粉を付けて咲くのが普通ですが、蜂がだんだん釧路、鶴居も葉の散布などで少なくなってきました。雌花に雄花を取り上げて、周りのかさを取って中の芯を入れてあげると確実に花を咲かせる事が出来ます。受粉しないかぼちゃは、ある程度大きくなるがすぐに腐ってしまい、食べられるかぼちゃにはなりません。今のかぼちゃはF1というものがあり、より美味しくするために科学的に種類を作り上げたものもあります。それから取った種は、一代か二代通過すると昔の種に戻ってしまいます。時々、かぼちゃに異変的なものができるのは、そういった種が入っていた時が多いのです。今日のかぼちゃを保存するのであれば、白い「雪化粧」を保存して「みやこ」を先に食べて下さい。黒い「みやこ」はあまり日もちしないので早めに食べて下さい。

《三木幹事》

9月18日に二男が誕生いたしました。もうすぐ2ヶ月になります。名前は「理」(ことわり・みち)に生きて書きまして理生(まさき)と名付けました。親がずいぶん道を踏み外してきたものですから(笑)、そういった願いを込めた次第です。上の子は智慧の「慧」の字をとって一慧(かずさと)といいまして、私は仏教やキリスト教が好きなもので、子どもへの謎かけと言いますか、なぜこの一字を名前に選んだかは、将来自分で考えてもらいたい。そう思っています。私は現在43歳ですから、下の子が成人すると63歳です。しかし、釧路のため・日本国のためにあと2人ぐらい子どもがいても良いかなと思っております！次は女の子がほしいと思っており、今度は少し歳を離したいと思っております。しかし、子どもたち全員が成人すると70歳！といったことになってしまうかも知れません。

本日より、当社労士事務所が移転しました。学習塾と社労士事務所の方をまとめて新築しまして、学習塾は11月1日移転リニューアルし、社労士事務所は本日から移転し、みなさまには本日、移転案内が届くと思います。

今年7月から幹事を担当させていただき、9月に子どもが生まれ、9月～10月は会社と社労士事務所の新築・移転となかなか大変でした。やっと引渡しも終わりまして、少し落ち着いて来たところでもあります。近況を兼ねましてご報告申し上げます。

《石川会長》

かぼちゃと言えば、ほとんどの方は煮つけ・たまには天ぷらというものがあると思いますが、かぼちゃ料理で、僕が一番美味しいと思っているのは「かぼちゃのクリームシチュー」です。一般的なクリームシチューの素にジャガイモ・玉ねぎ他を混ぜて、それにかぼちゃを入れるとほどよく溶け、かぼちゃのポタージュスープ状になって非常に甘く美味しいクリームシチューになります。ただし、スタートからかぼちゃを入れてしまうとすべて溶けてしまいます。かぼちゃを一度、電子レンジでチンして八割方熱を通ったものを入れると良いです。とっっても美味しくなりますので、一度試してみてください。これは我が家の一番人気のかぼちゃ料理であります。

《例会運営委員会 佐久間 委員長》

11月 8日 在籍数32名 出席免除者 4名 出席義務者 27名 「編集:小泉会員」
名誉会員 1名 出席者 19名 欠席者 8名 出席率 59.4%
10月25日 修正出席率 46.9%

会報委員長: 櫻田 美香 副委員長: 斎藤 静枝
委員: 加藤 精二 八村 弘英 佐藤 雅之 小泉 和史